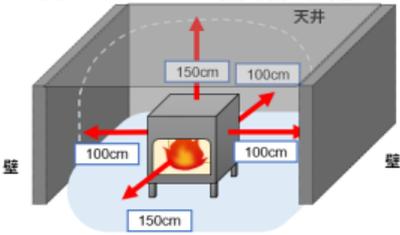
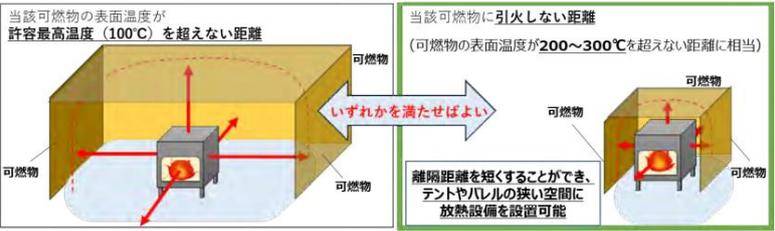


サウナ設備の比較

<p>条 例 (種 類)</p>	<p>第7条の3 一般サウナ設備</p>	<p>新)第7条の2 新)簡易サウナ設備</p>
<p>対象サウナ</p>	<p>全 て</p>  <p>施設サウナ</p>	<p>屋外に設ける テント型 と バレル型 のみ</p>  <p>テント型 バレル型</p>
<p>熱 源</p>	<p>全 て (ガス、灯油、電気、薪等)</p>	<p>電気式 と 薪のみ (ガス、灯油式等は対象外)</p>
<p>出力規制</p>	<p>最大出力30kW以下</p>	<p>最大出力 6 kW 以下</p> <p>薪を使用するサウナについては、製造メーカーの仕様書等で6 kW以下を確認できるもの</p> <p>参考：通常乾燥薪 1 kgあたり 1 h約 4 kWの熱出力があると言われている</p> <p>薪 = 1kg/4kWhであるとする1 hに薪1.5kg以上消費するものは対象外となる予想</p>
<p>離隔距離</p>	<p>基準</p> <ul style="list-style-type: none"> 可燃物表面の温度が100°Cを超えない距離 可燃物が引火しない距離 <p>両方の基準を満たす距離を確保する必要あり</p> <p>電気サウナを設置する場合</p> <p>可燃物表面の温度が100°Cを超えない距離として告示で構造やkWにより距離を定めている</p> <p>薪サウナを設置する場合</p> <p>薪ストーブの基準を適用 (上方150、側方100、前方150、後方100cm)</p> <p>薪ストーブの離隔距離</p> 	<p>基準</p> <ul style="list-style-type: none"> 可燃物表面の温度が100°Cを超えない距離 可燃物が引火しない距離 <p>どちらか「短い距離」とすることができる</p> <p>どちらか「短い距離」のイメージ</p>  <p>簡易サウナは素材や材質が、それぞれ違うことから、統一した距離の基準を定めることができないため、製造メーカーが上記の基準を満足する距離を示すこととなる</p> <p>※必要な離隔距離等については、アウトドアサウナ協会がとりまとめWebにて公開予定</p>
<p>消火装置等</p>	<p>異常な温度上昇時には手動又は自動で遮断する消火装置付</p>	<p>異常な温度上昇時には手動又は自動で遮断する消火装置付</p> <p>※ 薪 を熱源とするものに限っては、使用できる位置に消火器を設置すること</p>
<p>届 出</p>	<p>必要(個人利用を除く) ※個人が設置するものでも事業目的とするものは必要</p>	
<p>消防用途</p>	<p>建物内(公衆浴場)※従属する場合を除く</p>	<p>単独設置(その他の事業場)</p>